

議 事 録

会議の名称	令和8年度第1回岩倉市地域公共交通会議
開催日時	令和8年5月26日（火）午前10時30分から11時40分まで
開催場所	岩倉市役所7階 第2・第3委員会室
出席者	中部大学名誉教授 名鉄バス株式会社 名鉄西部交通株式会社 愛知県タクシー協会 名鉄西部交通労働組合 中部運輸局愛知運輸支局 愛知県交通対策課 愛知県江南警察署 区長会副会長 民生委員児童委員協議会代表 公募（市民委員登録制度） 岩倉市総務部長 磯部 友彦 臼井 雅宏 本地 祐一郎 松浦 秀則 伊藤 孝（代理：本地 祐一郎） 原田 光一郎（代理：小田 春樹） 高臣 綾子（代理：鈴木 良美） 伊藤 和喜（代理：山口 達也） 塚本 秋雄 大宮 典子 太田 勇喜夫 中村 定秋
事務局	協働安全課長 協働安全課統括主査 協働安全課主任 協働安全課主任 企画財政課長 企画財政課主幹 企画財政課主事補 竹井 鉄次 今枝 正継 犬飼 麻里子 植手 雄太 井手上 豊彦 宇佐見 信仁 梅津 碧美
会議の議題	・ふれ愛タクシー事業の利用状況について
議事録の作成方法	■要点筆記 □全文記録 □その他
記載内容の確認方法	☒ 会議の長の確認を得ている ☐ 出席した委員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
会議に提出された資料の名称	・次第 ・資料１：岩倉市地域公共交通会議委員名簿 ・資料２：岩倉市地域公共交通会議条例 ・資料３：令和７年度ふれ愛タクシー利用実績 ・参考資料：中部地方における運輸の動き ・机上配布資料１：ふれ愛タクシーパンフレット ・机上配布資料２：「活発で良い議論ができる会議のために」 ※机上配布資料２については中部運輸局愛知運輸支局から提供
公開・非公開の別	■公開 □非公開
傍聴者数	３人
その他の事項	－

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 開会

2 会長あいさつ

磯部会長よりあいさつ。

3 委員自己紹介

4 報告事項

報告事項に入る前に机上配布資料2について小田代理から説明。

（1）ふれ愛タクシー事業の利用状況について

協働安全課今枝統括主査から以下2点について報告。

○資料3及びふれ愛タクシーパンフレットについて

○岩倉駅乗降禁止区域について

名鉄西部交通、名鉄バスとの協議を実施しており、まずは車両の待機時間や待機場所などの懸念が少ない「降車」を対象に実証実験を行い、検証結果を踏まえて実施を検討していく方向性で進めている。実証実験の実施に向けてこれから調整をしていく。

小田代理：実証実験については、今年度実施するのか。

事務局：昨年度実施方法について検討してきており、今年度実施も視野に入れて時期を検討していきたいと考えている。

磯部会長：利用実績については、数字を見ると、昨年度と同じような使い方をされている。付き添いの人がいるかもしれないが、かなり高齢者が利用しており、お一人で動ける状況が続いているのはよいことである。

小田代理：実績資料を見ると、ふれ愛タクシーの仕組みとして、利用が増えると今後も経費の増加傾向が顕著になっていくと思うが、デマンド型乗合タクシーと比べると経費は抑えられているので、仕組み自体は素晴らしいと思う。

65歳以上の人で、一度登録した後に登録証を返却されることはあるのか。

事務局：返却はあまり多くない。住民票に基づいて喪失した登録者は削除している。

塚本委員：利用料金は変わっていないのか。迎車料金等は各タクシー会社いくらなのか。

事務局：制度ができてから変わっていない。昨年度、タクシー運賃の値上げがあったので、市の負担についても少し増えている。

塚本委員：迎車料金はメーターに関係なく一律で決まっているのかと思うが、どのタクシー会社も同じ料金なのか。

本地委員：ふれ愛タクシーの協定を結んでいる事業者の料金は同じであると把握している。迎車200円、時間指定300円となっている。

昨年12月に運賃を値上げ（約1割）し、1,500円前後で利用してきた人の中には負担が増えている人もいるかと思う。資料を見ても岩倉市はコンパクトであることもあり、まだ400円で利用できている人が多いとみている。

磯部会長：タクシー料金が値上げしているので、利用料金の実績も 800 円、1,600 円が増えている。以前は 1,600 円の件数は 0 件であったことが多かった。そういう状況ではあるが、400 円・800 円・1,600 円の料金区分は当面は変えないということによろしいか。

事務局：はい。

山口代理：例えば、1,500 円の負担でどれくらいの距離を乗ることができるのかと聞かれることが多いと思う。停車の時間もあるので距離を載せるのは難しいと思うが、概ねどれくらいの距離を乗ることができるのかを提示すると、より使いやすいのではないかなと思う。

事務局：窓口でそのような意見をあまり聞いてはいないが、およその距離の提示がある方が利用しやすいと思うので、タクシー事業者に相談しながら、載せることを検討したい。

磯部会長：予約の時に聞かれることがあるかなと思うが、タクシー会社はどう考えるか。

本地委員：交通事情があるのではっきり言えないが、目安としてお答えすることはできる。

臼井委員：時間帯を見ると午前 9 時から 11 時の利用が多い。病院だと 8 時台が多いかなと思う。その時間帯に集中して予約がとれないなどの声はないか。

事務局：以前はそのような声があったが、最近はあまり聞かない。利用者が実際に利用する中で、予約を取りやすい時間に利用するなど、分散して利用されていると感じている。

太田委員：時間帯も行きと帰りを分けて分析すると違う数字が出るのではないかなと思うが、人の数は気にしなくてもよいと考える。利用者が今までの経験を生かして利用時間を考えて乗車してもらえるのであれば、それはそれでよいのではないかなと思う。

(2) その他

参考資料について、企画財政課宇佐見主幹より説明。

磯部会長：関係委員より最近の運転手の雇用や勤務状況等についてお話し願いたい。

臼井委員：乗務員が不足している状況。廃線には及ばないが、減便を行うことで業務量を減らし、なんとか路線を維持している。東海地方のみならず、全国に向けて採用イベントを実施することで、全国からの人員獲得に努めている。

バス業界は 1 日の拘束時間が長い等の特徴があり、人が集まりにくい。働き方について、特に若い方に向けて、限定的な勤務時間を指定できるようにしたり、担当する車の大きさを選択できるようにするなど試行錯誤をしている。

本地委員：乗務員の数はコロナ禍以降減っていたが、昨年落ち着いて徐々に増えてきたような状況。働き方について、これまで 1 日制のシフトだったものを日勤のみ、夜勤のみと希望で選べるようになった。岩倉市のエリアは他の営業所と比較して採用が難しいエリアだと感じる。また、GO アプリや名鉄西部交通の配車アプリのシェア拡大も働きやすさにつながっていると考えている。

松浦委員：タクシーに関しては、名鉄バス同様 GO アプリの利用が拡大しており、配車が容易になったり、乗務員の給料が増加したりすることにつながっている。この傾向が続けば、GO アプリだけでなく UBER アプリを導入する可能性もある。また、本年 10 月 1 日より一宮市・稲沢市の事業区域と統合され、これまで区域ごとに分けられていた車両の往来が可能になり、GO アプリ上での区域設定も拡大される。事業領域の変化から働く機会が増えると考えられる。

バスに関しては、5 つの市でコミュニティバスを運行しているが、病院へ輸送すること

を主目的にルートが設定されていることが多い。最近では少子化の影響で、一部の市町で小学校の統合が行われている。中学生は自転車で通学できるが、小学生には難しいため、小学生の移動をどうするのかという課題がある。また、コミュニティバスにおいてはキャッシュレス決済の導入にも取り組んでおり、整備費用がかかるが自治体と協力して進めている段階。現金を持ち歩かない人が増えており、クレジットカードや交通系 IC など、全ての決済方法が選べるよう対応していく必要があると感じている。

小田代理：人材確保の取組に関しては、2 種免許取得費用の補助を事業として実施しており、教育にかかる費用についても補助を活用いただいている。先日愛知県バス協会主催のバス事業者の就職相談会が実施され、100 人以上の来場があった。

人材不足が顕著であり、結果として輸送人員にも影響がでている。タクシー事業については、運転手不足の状況から、人手の確保が進んだことで輸送人員が増加した。一方、乗合バスについては、乗務員不足からやむなく減便し、輸送人員が減少しているという結果となっている。最近では沖縄や北海道等の人口が少ない地域では、東京での就職相談会等に自治体職員が出張し、移住についての補助金の説明を行うなど人員確保の動きがある。

鈴木代理：愛知県についても人材不足を課題と感じている。本会議の意見を持ち帰り検討させていただく。

山口代理：乗務員と同様に警察官も不足している状況である。悲惨なバスの事故等が発生しているため、人材不足ではあるが採用に当たっては慎重な判断をお願いしたい。

磯部会長：タクシーは乗る場所と降りる場所の関係が決まっている。例えば、尾張北部地区で乗車して別の地区まで運んだ場合、その地区では次の乗客を乗せることができないため、元々の地区まで戻ってくる必要がある。

小田代理：一宮市・稲沢市を含む尾張西部交通圏と尾張北部交通圏が統合され、尾張交通圏になる予定。

磯部会長：統合されると、一宮市や稲沢市等の広い地域での移動が可能になるため利便性の向上が期待できる。今回の変更はふれ愛タクシーにも影響がある可能性もある。

5 その他

事務局：岩倉市の公共交通に関する直近の取組について1つ紹介させていただく。

本市は鉄道駅が3つあり、南北に名古屋鉄道、東西では名鉄バスの路線が通り交通利便性が高いまちという自認している。しかし、南西部の地域について、最寄りの駅から少し距離があるため、市内では比較的不便な地域だと捉えている。現在ふれ愛タクシー等をご利用いただくことで大きな不便は生じていない状況ではあるが、今後、少子高齢化や人口減少が進み自家用車での移動が困難になることが考えられる。現時点で交通空白に近い状況が生まれていることから、近隣自治体である一宮市と稲沢市と広域的な取り組みができないかと考え、昨年3市で勉強会を立ち上げた。必ず新たな交通手段を導入・整備する前提ではないが、まずは今年度、対象地域に向けてアンケート調査を実施し公共交通の需要や交通行動の実態について把握していく。結果は来年度の地域公共交通会議にて報告させていただく予定である。

磯部会長：以上で終了とする。進行を事務局にお返しする。

事務局：本日は様々なご意見を聞かせていただいた。今後いただいた意見を事業に活用させていきたいと思う。引き続き皆さんのお力添えを賜りたい。
本日はこれにて終了とする。

上記のとおり、岩倉市地域公共交通会議の経過及びその結果を明確にするために、この会議録を作成し、ここに署名します。

令和 8 年 6 月 25 日

岩倉市地域公共交通会議

会長

磯部友新



